

しよしかんてつ 初志貫徹

「和而不同（わじふどう）」（論語）とは「他人と仲良くするが、他人にひきずられたりしないこと」の意味です。
※1学期も残り20日余りですが、夢（目標）を決めたら、他人に惑わされず、自分の判断で行動しよう！

学校教育目標

夢と志ともら、実現に向かって
自ら努力し続ける生徒の育成

八代市立第四中学校だより

第4号 令和5年6月30日

文責 校長 沖田 龍藏

「八代中体連大会、完全燃焼」！

新型コロナウイルスやインフルエンザの感染状況が心配された中、今週末7月1日に開催される陸上競技、空手道（社会体育の部）の他、6月24日～26日にかけて、各会場で選手、監督、コーチ、後援会が一体となった熱戦が繰り広げられました。



21日の選手激励会の中で、「チーム四中」職員集団で、ゆずの「栄光の架橋」を合唱しエールを送りました。その期待に応えるかのように、選手が「四中プライド」をもち、最後まで勝利を信じ、力を発揮したことを大変嬉しく思いますとともに、保護者の皆様に感謝申し上げます。県大会の出場権を得た皆さんは、八代の代表として、さらに高みを目指し精進してください（詳細は四中HPでお知らせ済み）。また、6月は「心の絆を深める月間」として、全校で「人権標語」等に取り組みしました。学級通信にあった作品から、2点紹介します。（1年生）「大丈夫 みんなあなたの味方だよ」、（2年生）「ありがとう 仲間最高 たからもの」。学級はもとより、生徒会や部活動を通じて、いじめの未然防止としての仲間づくりや絆づくりに取り組んでくれています。校訓にある、「優しさ」を忘れずに、周りの友達に接してほしいと思います。15日は、朝自習の時間（1・2年生向け）に、ボランティア「かわせみ」による絵本の読み聞かせが4年ぶりに開かれました。聴く態度もよく、絵本の世界に入り込む姿を見ることができました。16日に開催した学校運営協議会では、委員の皆さんに学校経営方針を説明し、地域で八千把の子供たちを見守っていただくよう、協力をお願いしました。話の中で八代市民体育祭（陸上の部）に出場した選手たちの挨拶や態度・マナーがとてもよかったと聞きました。とても嬉しくもあり、競技に臨んだ四中生



を誇りに思いました。22日には、八代教育事務所の学校訪問を受けました。学校経営方針の説明とともに、授業参観がありました。全職員でさらに子供主体の授業づくりを目指していかなければならないと反省しました。

「考え、議論し、楽しむ道德の授業づくり」の研究授業！28日は道德の研究授業（2年部）を行い、四中教育の徳育にあたります道德の授業づくりをとおして、人間としての生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道德性を養うという目標に向け、各担任を中心に生徒とともに考え、議論し、楽しむ授業づくりに取り組んでいるところです。来週から、学校全体では「職業講話」や「授業参観」、2年生は「職場体験」、3年生は「いきいきサロン」、「上級学校説明会」等のキャリア教育に関する行事を予定しています。充実した活動を今後も計画していきます。

※「八代市立第四中学校 HP」で検索を！